

平成 31 年度スタート

4 月 8 日 着任式 始業式 入学式

◇第 4 5 回入学式 2 4 0 名の新入生を迎えました。

入学式式辞

新入生のみなさん、西宮南高等学校へのご入学おめでとうございます。皆様のご入学を心からお祝いし、歓迎いたします。春の風が、新たな季節のスタートを告げる、今日のこの良き日に、240 名の新入生を迎えることができ、本当にうれしく思います。この希望に満ちた日、ご臨席を賜りましたご来賓の方々、保護者の方々に高いところからではございますが、厚くお礼申し上げます。

さて、日本は、2019 年、平成から令和へと新しい時代を迎えます。また 2020 年の東京オリンピックパラリンピックにむけ、早くも様々なニュースがはいってきます。かつて日本は、1964 年の東京オリンピック、そしてその 6 年後 1970 年大阪で万国博覧会が開かれ、両イベントを契機として、高速道路網の飛躍的発展、東海道新幹線が整備され、戦後、ようやく日本もここまで復興、成長したことを世界にアピールしました。この度も、東京オリンピックに続き、大阪万博の開催、昭和の歴史のリバイバルともいわれています。しかし当時 64 年五輪の海外からの訪問者はわずか 5 万人、70 年万博は 6 か月で 170 万人でした。ところが今や、年間 3000 万人の訪日外国人を迎え、1970 年代大阪万博の時代とは比較しようもないくらいグローバル化が進んでいるといえます。また、今日の社会は急激に変化する時代です。皆さんが社会で活躍する頃、人工知能の進化により、職業や雇用が変化するなど、未知の世界に突入していきます。

そういう時代に生きていく力を身につけるためには、2 つのことが必要だと考えます。そして、それを意識し、高校生活を送ってください。

第一に、いかなる時代であっても、人として大切なこと。「時を守り、場を清め、礼を正す」の実践です。これは、森信三という教育学者の言葉です。「時を守り」とは、文字通り時間を守ることです。日本人の世界に誇れる優秀さはこの「時を守る」ことです。これは集団生活の基本ですが、同時に、相手を尊重すること、それにより自分の信用を積み重ねることにつながります。「場を清め」とは身の回りをきれいにすることです。日本の学校では、清掃の時間があります。清掃をすることで、心を磨く、感謝の心が芽生えます。きれいに磨かれた場では、気持ちよく過ごせ、心を明るくします。そして、「礼を正す」とは、挨拶と、返事をする、服装を正す、姿勢を正すことです。社会は、人と人との関係から成り立っています。「時を守り、場を清め、礼を正す」という、誰にでもできる平凡なことを徹底して続けていき、人としての大きな成長につなげてほしいと思います。

第二に、グローバル化、急激な社会の変化に対応する力を身につけるため、「学び続ける人」に成長してほしいということです。皆さんは、今まで学校教育において多くの場合、正解を求める勉強をしてきたと思います。10 代後半の高校生が、社会に出て活躍する 20 年後、30 年後、それは、1 つの正解ですむような時代ではありません、だからこそ高校での 3 年間、しっかり学び、学んだ知識を使って、自分が今何をすべきか、自ら考え、判断し、自主的・主体的に行動する力がこれからの時代には必要です。そのための一つの取組として、今年度よりオーストラリアへの語学研修を行う予定です。

本校の校歌には、創立にあたってこの学校に託す思いが込められています。その最後のフレーズ「智恵みつ南」の智恵とは、まさに正しい判断力、物事の真実の姿を身につける力という意味です。その智恵が実る学びを期待します。

最後になりましたが、保護者の皆様、お子様のご入学、誠におめでとうございます 3 月、本校 42 回生の卒業式で、代表生徒がこのように語りました

1 8 年間、いつの日も私たちを見守ってくれた、お父さん、お母さん、家族のみなさん、どんなにしんどくても私たちの生活のために働いてくれました。3 年間、朝早く起きて文句も言わずお弁当を作ってくれました。今まで当たり前のように生活できていたのは全部あなたのおかげです。いさかや反抗もすべて受け止めてくれました。私たちはもう 1 8 歳です。こんなに大きくなりました。1 8 年間大切に育ててくれてありがとうございました。私たちは今、とても幸せです。

高校の 3 年間は、人生の方向を決定するする大きな時期であり、悩みも多い時期でもあります。生徒たちは、反抗するかもしれません。しかし、これが正直な思いだと感じました。ご家族のサポートがまだまだ必要です。私ども教職員すべてが、心を一に結束し、全力を尽くし、お子様の大きな成長をめざし教育活動に取り組んでまいります。皆様の熱心さが、学校の支えでございます。どうか本校の教育活動にご理解、ご協力を賜ります様よろしくお願いいたします。

待ちわびた希望の春、新入生二百四十名の大きな成長を祈りつつ、これをもって式辞といたします。

平成三十一年四月八日

兵庫県立西宮南高等学校校長 前田容子

